



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名 横浜冷凍株式会社

上場取引所 東

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日

平成24年6月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	57,494	△8.0	1,365	△48.0	1,393	△47.8	769	△33.1
23年9月期第2四半期	62,465	△0.1	2,625	3.8	2,672	0.9	1,150	△17.0

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 976百万円 (△23.0%) 23年9月期第2四半期 1,267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	14.87	—
23年9月期第2四半期	22.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	96,896	57,018	58.5
23年9月期	93,065	56,562	60.4

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 56,656百万円 23年9月期 56,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年9月期	—	10.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,340	△8.6	3,000	△28.5	2,880	△33.0	1,560	△6.5	30.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	52,450,969 株	23年9月期	52,450,969 株
24年9月期2Q	702,366 株	23年9月期	702,073 株
24年9月期2Q	51,748,757 株	23年9月期2Q	51,749,744 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年、発生した東日本大震災やタイの洪水等の影響が残る中、自動車をはじめとした一部の製造業に回復がみられ、今後、本格化する震災復興需要等が見込まれるなど、景気持ち直しの動きが見えてまいりました。しかしながら、長引く円高や欧州経済の減速等の影響により、輸出は引き続き低調に留まり、平成23年度の貿易収支は31年振りに赤字転落となりました。また、原油の高騰や、中国経済の成長鈍化の兆しもあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

食品関連業界におきましても、個人消費の底堅さは失われていないものの、所得・雇用環境の改善は鈍く、厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、第四次中期経営計画「Step Toward the Future」（3ヶ年）を平成23年11月に発表し、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の向上に努めてまいりました。

しかし、冷蔵倉庫事業は概ね計画どおりに推移しましたが、食品販売事業は主力商品の不漁や相場下落、放射能問題による輸出停滞等の影響により、売上高及び利益が大幅に減少しました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高57,494百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益1,365百万円（前年同期比48.0%減）、経常利益1,393百万円（前年同期比47.8%減）、四半期純利益769百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(冷蔵倉庫事業)

前期にスクラップ&ビルドにより新設いたしました北港及び鹿児島物流センターが、期初より順調に稼働していることに加え、復興需要等による食品貨物の荷動きも回復するなか、引き続き顧客ニーズを的確にとらえた収益重視の集荷活動に取り組んでまいりました。

貨物取扱量の状況は、冷凍食品や畜産品の取り扱いが増加したことで、前年同期と比べて入庫取扱量は約58千トン、出庫取扱量は約30千トン、平均保管在庫量も5.2%の増加となりました。

その結果、売上高は主に保管料収入及び荷役料収入が伸びたことで増収となり、営業利益も新設物流センターの減価償却負担増をカバーし、増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は10,083百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は2,392百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(食品販売事業)

水産品はウナギ、秋サケ等の著しい不漁による取扱量の減少、及び原発の放射能問題による輸出の停滞など、厳しい事業環境で推移しました。加えてエビ、輸入鮭鱒類等の主力水産品や国内で在庫過剰となったチキンの需給バランスが悪化し、相場下落による売却損及びたな卸資産評価損が発生しました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高及び利益が前年同期を大幅に下回り、売上高は47,405百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は2百万円（前年同期比99.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3,830百万円増加し、96,896百万円となりました。これは主に商品が6,109百万円増加したことや、売上債権が1,519百万円、現預金が603百万円、繰延税金資産が144百万円、有形固定資産が514百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ3,374百万円増加し、39,878百万円となりました。これは主に借入金が増加したことや、仕入債務が2,013百万円、賞与引当金が153百万円減少したこと等によるものです。また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ456百万円増加し、57,018百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ603百万円減少の3,959百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,102百万円の資金の減少(前年同四半期は3,263百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,477百万円、減価償却費1,721百万円及び売上債権の減少額1,515百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額6,098百万円、仕入債務の減少額2,013百万円及び法人税等の支払額629百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,520百万円の資金の減少(前年同四半期は1,373百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出3,008百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,026百万円の資金の増加(前年同四半期は5,320百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額7,652百万円による資金の増加と、配当金の支払額517百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「平成23年9月期決算短信」(平成23年11月14日付)で公表いたしました平成24年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

売上高113,340百万円、営業利益3,000百万円、経常利益2,880百万円、当期純利益1,560百万円
 なお、詳細につきましては、平成24年5月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,563	3,959
受取手形及び売掛金	15,902	14,383
商品	13,985	20,095
繰延税金資産	728	513
その他	568	878
貸倒引当金	△31	△29
流動資産合計	35,716	39,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,778	25,042
機械装置及び運搬具（純額）	4,727	4,942
土地	18,401	18,385
リース資産（純額）	174	215
建設仮勘定	1,280	231
その他（純額）	344	374
有形固定資産合計	49,706	49,191
無形固定資産		
のれん	1,001	925
その他	1,419	1,418
無形固定資産合計	2,420	2,343
投資その他の資産		
投資有価証券	3,775	3,914
長期貸付金	500	155
繰延税金資産	10	80
その他	1,007	1,473
貸倒引当金	△72	△62
投資その他の資産合計	5,222	5,561
固定資産合計	57,349	57,096
資産合計	93,065	96,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,765	4,752
短期借入金	7,335	15,035
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,261
1年内償還予定の社債	140	120
リース債務	52	64
未払法人税等	722	757
賞与引当金	614	461
役員賞与引当金	30	15
その他	4,949	2,846
流動負債合計	22,710	26,313
固定負債		
社債	90	40
長期借入金	12,465	12,241
リース債務	130	161
繰延税金負債	95	100
退職給付引当金	536	571
役員退職慰労引当金	302	273
資産除去債務	105	105
その他	68	70
固定負債合計	13,793	13,564
負債合計	36,503	39,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,897	35,150
自己株式	△520	△520
株主資本合計	56,553	56,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	66
繰延ヘッジ損益	△224	△8
為替換算調整勘定	△168	△206
その他の包括利益累計額合計	△358	△148
少数株主持分	367	361
純資産合計	56,562	57,018
負債純資産合計	93,065	96,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	62,465	57,494
売上原価	56,360	52,500
売上総利益	6,105	4,994
販売費及び一般管理費	3,480	3,629
営業利益	2,625	1,365
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	24	31
保険配当金	29	28
その他	101	165
営業外収益合計	164	235
営業外費用		
支払利息	102	145
その他	14	60
営業外費用合計	117	206
経常利益	2,672	1,393
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10	—
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	1	—
過年度固定資産税還付金	79	84
特別利益合計	92	84
特別損失		
固定資産除売却損	15	—
ゴルフ会員権売却損	2	—
災害による損失	471	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
特別損失合計	622	—
税金等調整前四半期純利益	2,142	1,477
法人税、住民税及び事業税	1,143	706
法人税等調整額	△168	△5
法人税等合計	975	701
少数株主損益調整前四半期純利益	1,167	776
少数株主利益	17	6
四半期純利益	1,150	769

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,167	776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	31
繰延ヘッジ損益	7	220
為替換算調整勘定	△3	△51
その他の包括利益合計	99	199
四半期包括利益	1,267	976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,254	979
少数株主に係る四半期包括利益	12	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,142	1,477
減価償却費	1,430	1,721
のれん償却額	74	76
賞与引当金の増減額(△は減少)	△141	△153
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△15
退職給付引当金の増減額(△は減少)	58	35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20	△28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
災害損失	471	—
受取利息及び受取配当金	△32	△41
支払利息及び社債利息	102	145
固定資産除売却損益(△は益)	14	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,116	1,515
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,756	△6,098
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,694	△2,013
未払費用の増減額(△は減少)	326	273
その他	52	△255
小計	△1,976	△3,370
利息及び配当金の受取額	38	40
利息の支払額	△98	△143
法人税等の支払額	△1,226	△629
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,263	△4,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△836	△3,008
有形固定資産の売却による収入	2	1
投資有価証券の取得による支出	△553	△99
投資有価証券の売却による収入	1	—
貸付けによる支出	△0	△295
貸付金の回収による収入	15	28
その他	△2	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,373	△3,520

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,649	7,714
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△626	△1,061
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△517
社債の償還による支出	△150	△70
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△31	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,320	7,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	681	△603
現金及び現金同等物の期首残高	3,877	4,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,559	3,959

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,443	53,007	14	62,465	-	62,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	793	-	24	818	△818	-
計	10,237	53,007	39	63,284	△818	62,465
セグメント利益	2,304	1,115	13	3,433	△808	2,625

- (注) 1.セグメント利益の調整額△808百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,083	47,405	5	57,494	-	57,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	895	-	24	920	△920	-
計	10,978	47,405	30	58,414	△920	57,494
セグメント利益	2,392	2	7	2,402	△1,037	1,365

- (注) 1.セグメント利益の調整額△1,037百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。